

令和5年度 当初予算(案)の概要



目次

- I 予算案の規模
- II 令和5年度の主要プロジェクト
- III 将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編)

～総合計画3年目～

ポストコロナへの チャレンジ予算



I 予算案の規模

1. 令和5年度一般会計当初予算額



1,147 億円

世界にエールを送るまち ふくしま

対前年比 $\Delta 12$ 億円 $\Delta 1.0\%$



本市出身のイラストレーター小林沙羅さんに「世界にエールを送るまち」をデザインしていただきました。

2. 会計別の当初予算額

(単位:千円)

会計名	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一般会計	114,700,000	115,900,000	△1,200,000	△1.0
仮置場返還関連事業を除く 実質的な当初予算	112,690,000	112,660,000	30,000	0.03
特別会計	57,916,480	56,439,779	1,476,701	2.6
水道事業会計	11,288,156	11,214,478	73,678	0.7
下水道事業会計	14,607,644	14,178,487	429,157	3.0
農業集落排水事業会計	314,437	283,317	31,120	11.0
合計	198,826,717	198,016,061	810,656	0.4

特徴(一般会計)

仮置場返還関連事業費(20.1億円)を除く実質的な当初予算額は1,126億9,000万円で、8年連続の増加となり過去最高額の積極型予算。安全安心、子育て・教育、産業振興、賑わい・文化、デジタル、ゼロカーボン、移住・定住、女性活躍関連に予算を重点配分。

Ⅱ 令和5年度の主要プロジェクト

1. 新型コロナ・物価高対策

33億8,483万円

2. 安全安心

～安全安心なまちづくり～

229億2,267万円

3. 子育て・教育

～総合的な対策で選ばれるまちづくり～

227億1,239万円

4. 産業振興

～将来にわたり持続可能な産業の創出～

33億4,048万円

5. 賑わい・文化

～心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興～

63億7,756万円

新 …… 新規事業

拡 …… 一部新規及び事業の拡充

6. デジタル都市の形成と 地域経営のリノベーション

12億6,934万円

7. ゼロカーボンの推進

18億8,116万円

8. 移住・定住の促進、女性活躍社会の形成

5億7,699万円

新型コロナの出口を見据えた
8つの取り組み



ふくしま環境フェア
～みんなでつくろう 持続可能な未来～

1. 新型コロナ・物価高対策

- (1) 新型コロナ対策
- (2) 物価高対策



1. 新型コロナ・物価高対策

16事業 33億8,483万円

(1) 新型コロナ対策

I：検査・医療・ワクチン接種の維持

- 新型コロナワクチン接種
希望する市民がワクチンを接種できる体制を維持します。(1人年1回想定)  1,467,743千円
- PCR検査の実施、検査費用の公費負担 317,328千円
- 新型コロナ診察医療機関への支援 23,250千円
 - 発熱外来運営費用助成
 - 臨時発熱外来開設費用助成
 - 院内感染対策助成金
 - 医療資材の調達支援
- 新型コロナ入院医療費の公費負担 96,120千円
- 妊婦PCR検査支援 11,727千円

II：事業継続のための感染防止対策

- 子育て支援施設 134,500千円
 - 保育所・幼稚園等における消毒用アルコールなど衛生用品の購入費用の支援
 - 感染者が発生した場合に実施する施設内の消毒・清掃にかかる超過勤務手当などの掛かりまし経費

III：公共施設の対策

- 公共施設・避難所・福祉避難所 21,945千円
 - 消毒用アルコールなど衛生用品の購入など

IV：事業者支援

- ポストコロナ会議等支援 3,000千円
対面の会合開催費用の一部を補助し、ポストコロナにおける社会経済活動の早期回復を図ります。
- 地域公共交通支援 185,130千円
- 新** ポストコロナ対応デジタル化等支援(後掲) 30,000千円

(2) 物価高対策

- 新** 肥料価格高騰対策支援 11,200千円 (3月補正)
価格高騰の著しい化学肥料の低減を促進するため、炭化器の設置を支援します。
- 新** 子ども食堂運営支援 2,000千円
市内企業・団体等と連携してフードドライブ活動を実施し、子ども食堂の運営支援を通じて、子育て世帯を支援します。 
- 新** 中小企業ゼロカーボン資金融資(後掲) 503,200千円
- 新** 事業者省エネ設備導入支援(後掲) 105,500千円 (11月補正で予算計上済)
- 新** 脱炭素生活スタイル普及啓発(後掲) 2,000千円
- 拡** 福島型給食推進事業(後掲) 470,188千円



2. 安全安心なまちづくり

- (1) 災害対策の強化
- (2) 消防力の充実強化
- (3) 共生社会の推進
- (4) 健都ふくしまの創造
- (5) 高齢者元気の創造
- (6) 地域医療の充実
- (7) 生活環境の整備
- (8) 仮置場の原状回復と放射線からの安全安心確保

2. 安全安心なまちづくり

64事業 229億2,267万円

(1) 災害対策の強化

I：水害対策パッケージ

(主なもの)

- 河川強靱化(浸水対策)
- 祓川、瀬上中川原樋管浸水対策
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業

拡 田んぼダム(本格実施)

新 市独自雨量計設置(濁川、八反田川、大森川、水原川)

新 河川水位予測システムの導入

(濁川、八反田川、大森川、水原川)

764,256千円
(うち3月補正56,800千円)



災害時における要援護者支援パッケージ

(主なもの) ～水害時逃げ遅れゼロを目指す！～

- 避難行動要支援者名簿の更新・個別避難支援プランの作成

拡 地区防災計画策定の推進

(地区防災マップ4地区、地区防災計画2地区)

34,200千円



II：除雪力強化パッケージ

拡 令和3年度大雪対応への経験を教訓として、「雪害」への総合的な対策強化を図ります。

(追加)

- 除雪車運行管理システムの導入、除雪協力事業者への待機保証制度導入

113,792千円
(うち3月補正10,769千円)

III：情報収集・伝達体制の強化

(主なもの)

- 総合防災情報システム管理

新 気象情報収集の多角化

- 防災アプリの運用



29,295千円

新 ふくしま防災フェアの開催

1,122千円

○ 民間事業者と連携した一時避難場所等の充実

4,759千円

○ 災害に強いインフラ整備(橋梁長寿命化)

718,000千円

拡 住宅耐震化・ブロック塀撤去促進

28,600千円

S56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震診断・改修・建替工事費用の一部を補助します。(耐震診断:50→100戸、耐震改修等:12戸)
また、ブロック塀の撤去費用の一部を助成します。(補助限度額100千円)

(2) 消防力の充実強化

新 消防本部・福島消防署の移転整備推進

92,036千円

令和10年4月の供用開始に向け、基本設計等を実施します。

拡 消防団員報酬の改定による処遇改善

9,514千円

消防団員の年額報酬支給額を増額します。

拡 高規格救急自動車整備

41,579千円

拡 12誘導心電図伝送装置運用

361千円

(全10台で運用)



2. 安全安心なまちづくり

(3) 共生社会の推進

I：バリアフリーの推進

・障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、だれもが地域で安心して暮らせるよう、ハード面に加え、心のバリアフリーなどのソフト面にも取り組みます。

拡 バリアフリー推進パッケージ

21,393千円

- ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進
- いきいき！ふくしまマーケット開催
- ポッチャ普及推進
- バリアフリー推進パートナーミーティングの開催
- 歩道点字ブロック・シート設置
- ユニバーサルデザインのまちづくり推進



○ 包括的支援体制の整備

30,577千円

対象者の属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。

II：障がい児・者福祉の推進

拡 障がい福祉サービスの充実

5,299,593千円

- 自立支援医療費 284,670千円
- 計画相談支援推進 19,200千円
- こども発達支援センターの運営 51,655千円
- いきいきふくしまマーケットの開催(再掲) 548千円

III：多文化共生の推進

新 多文化共生センターの開設

多文化交流の拠点として多文化共生センターを整備します。(MAXふくしま内)
在住外国人や外国にルーツを持つ市民を支援します。



13,300千円

○ 外国人生活相談

4,675千円

○ 国際交流員配置

4,954千円

拡 外国にルーツを持つこどもの日本語サポート

外国にルーツを持つ子どもの学校生活適応に向け、重層的な支援を行います。

2,920千円

○ 結・ゆい・フェスタ開催

2,000千円

○ 国際交流事業支援

1,800千円



拡 公立夜間中学の開設に向けた準備

教室の改修やバリアフリートイレの設置など開校に向けた整備を進めます。R6.4月開校予定(県内初)

42,757千円



IV：動物との共生

拡 動物愛護推進

19,081千円

○ ペット同伴避難所の体制整備

223千円

2. 安全安心なまちづくり

(4)『健都ふくしま』の創造

・「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」を三本柱として、人生100年時代を見据えた健康づくりを推進します。



- **拡** 健都ふくしま創造事業 17,069千円
- 特定健康診査の推進 247,412千円
- **拡** 定期予防接種の推進 837,406千円
従来の定期予防接種に加え、新たに子宮頸がん9価ワクチンの接種を実施します。

(5)『高齢者元気』の創造

- **新** 元気高齢者の介護の仕事への参入支援 2,200千円
- 介護人材確保による介護サービスの安定 8,349千円
- **新** 地域で支える交通推進 6,500千円
地域住民が自ら計画・運行する「小さな交通」に対し、アドバイザー派遣や運行経費への補助金交付など、伴走型支援を行います。
- 高齢者の路線バス等利用促進 164,968千円
- いきいきももりん体操講座 2,455千円
- シルバー人材センター活動支援 9,218千円
- 地域包括ケアシステムの推進 500,748千円
- 介護保険・後期高齢者医療費負担 8,049,303千円

(6) 地域医療の充実

・救急医療、医師確保対策など、福島県立医科大学や市医師会・医療機関と連携し地域医療体制の充実を図ります。

救急医療体制の充実

- 救急告示病院運営費補助 209,056千円
- 休日夜間輪番制救急医療体制確保事業 119,510千円
土曜日の午前も輪番体制を組み、市内11の病院で、二次救急医療体制を確保するための費用を補助します。
- 福島県立医科大学との連携による医療体制の強化 63,000千円
(寄附講座)
 市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、実地研修や研修医を対象とした研修会の実施により、救急医療体制の基盤強化を図ります。
- **拡** 救急搬送体制の強化 361千円
常時使用する全ての救急車に12誘導心電図伝送装置を配備し、リアルタイムに心電図を病院と共有し救急患者の救命率向上を目指します。(県内初)



12誘導心電図伝送装置

- 夜間急病診療所運営 221,575千円
- 茂庭診療所運営 3,153千円
- 休日救急歯科診療所運営 28,398千円
- 休日在宅当番医制運営 5,293千円
- 医師・看護師確保、臨床研修支援等 30,022千円



夜間急病診療所

2. 安全安心なまちづくり

(7) 生活環境の整備

拡 あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備

あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備に向け、環境影響評価、発注者支援業務、旧破碎工場等の解体工事を行います。



新焼却工場イメージ

127,804千円

○ ごみ集積所適正管理の推進

ごみ集積所のごみ散乱を防止し、地域環境の美化及びごみ処理の適正化を推進します。

572千円

○ あぶくま・あらかわクリーンセンター運営

2,078,770千円

○ 衛生処理場改修

83,498千円

拡 合併処理浄化槽設置・転換支援

99,359千円

合併処理浄化槽の新規設置や、単独処理浄化槽等からの転換を支援します。

R5より下水道事業認可区域を除く市街化区域については、転換費用にかかる補助額を上乗せします。

拡 ムクドリ・カラス対策

2,117千円

LED照明や音声再生装置を活用し、街なかのフン害対策を講じます。また、町内会等と連携し、カラスに荒らされにくいゴミ集積所について調査研究を行います。

新 盛土規制法に基づく基礎調査

5,100千円

盛土による災害防止のため、福島県と共同で規制区域の指定に必要な調査を行います。

新 福島交通飯坂線 第4種踏切安全対策

1,494千円

第4種踏切への注意看板やボイスガイド等の設置を支援します。

○ 通学路等の交通安全施設整備

115,964千円

通学路の安全施設設置、歩道段差解消や交差点改良、道路標識や道路照明灯の更新等を実施します。

(8) 仮置場の原状回復と放射線からの安全安心確保

・中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復を行います。

○ 仮置場の原状回復と返還の推進

2,010,000千円

区分	設置箇所数	R4未返還完了見込み	R5未返還完了見込み	進捗率
仮置場	34カ所	18カ所	34カ所	100%
仮々置場	7カ所	6カ所	7カ所	
合計	41カ所	24カ所	41カ所	

放射線からの安全安心確保

○ 環境放射線量の測定

30,502千円

市内の公共施設等の環境放射線量を定期的に測定し公表します。
(公共施設等160カ所、公園560カ所)

○ 放射性物質吸収抑制対策

42,011千円

牧草などへのカリ肥料の散布や果樹の改植など放射性物質の吸収抑制対策を支援します。

○ 放射線からの健康管理

56,815千円

○ 学校給食まるごと検査

50,519千円

○ 農産物・食品等放射能測定

55,192千円

○ 放射線教育の推進

100千円



食品等放射能の測定



空間放射線量の測定



3. 子育て・教育 ～総合的な対策で選ばれるまちづくり～

- (1) 子育て支援の充実
- (2) 教育の充実

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

47事業 227億1,239万円

(1) 子育て支援の充実

I : 子育てのための経済的支援

結婚から子供が健やかに育つまでの間、切れ目ない経済的な支援を総合的かつ継続的に推進します。

7,486,929千円

0. 結婚新生活

市独自

拡 結婚新生活応援(後掲)

- ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)(初年度15万円)
- ②家賃支援 2年間(最大年24万円)
- ③住宅取得支援(最大30万円)



1. 妊娠～出産期

新 妊娠届時
5万円給付

市独自

○ 妊婦健診15回無料

市独自

○ 新生児聴覚検査無料

新 出生時
5万円給付

拡 出産育児一時金
50万円給付

2. 乳幼児期

市独自

拡 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の1/3を支援

市独自

○ 0～2歳児の保育料を国基準額から軽減

市独自

第2子の保育料1/2
第3子以降は無料

拡 所得制限撤廃
(年齢基準なし)

○ 幼児教育・保育の無償化

3. 小学校

市独自

拡 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の1/3を支援

市独自

○ 放課後児童クラブの利用料を軽減
・第2子 2,000円
・第3子以降 4,000円

4. 中学校

市独自

拡 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の1/3を支援

5. 高校

市独自

○ 奨学資金支給制度
(年5万円)

市独自 国民健康保険税の軽減 (未就学児と18歳以下の子2人目以降)

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

児童手当 月額5,000円～15,000円

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

Ⅱ：子育て環境の整備

拡 待機児童対策推進パッケージ

146,431千円

(主なもの)

- 保育士するなら福島市！プロモーション
- 輝け！保育人財活躍促進
- 保育士宿舍借り上げ支援
- 保育支援員雇用支援
- 拡 幼稚園送迎ステーションの運営
 - UIターン保育士等就労支援
 - 保育士等奨学資金貸付



○ 子育て施設の運営

8,810,239千円

拡 私立幼稚園預かり保育支援 (R4：6園 ⇒ R5：8園へ)

8,984千円

拡 私立保育所・認定こども園整備支援

283,119千円

新 保育の質向上に向けた研修

162千円

拡 保育士等の処遇改善(一部再掲)

237,425千円

○ 放課後児童クラブの運営 (R5：94クラブ)

700,525千円

○ 地域子育て支援拠点の運営

237,380千円

拡 子どもの居場所づくりと子ども食堂運営支援(一部再掲)

5,700千円

新 こども家庭センター・えがおの設置

29,014千円

新 ふくしま☆スタイル住宅整備(後掲)

318,000千円

新婚、子育て世帯が福島に住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅を整備します。

子ども・子育て新ステージ2020推進事業

拡 福島型給食の推進

470,188千円

食材価格が高騰する現状においても、栄養バランスが取れたおいしい福島型給食の質と量を継続的に確保するとともに、補助率を1/3に拡大し、保護者の負担をさらに軽減します。



○ 休日保育の実施

9,408千円

○ 放課後児童クラブ支援員等処遇改善

183,955千円

○ 放課後児童クラブ多子世帯利用料補助

36,960千円

拡 特色ある幼児教育・保育の推進

8,261千円

特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して費用を補助し、豊かな発想や感性を持った子供たちの成長を支援します。R5より、事業4年目以降の園に対しても継続して支援します。

子育てするなら福島市
特色ある幼児教育・保育プロジェクト



拡 保育施設多子世帯負担軽減

143,900千円

子どもが2人以上いる全ての世帯に対し、第2子以降の認可保育施設の保育料を軽減します。

所得制限撤廃！
年齢基準なし！

全ての子	保育料
2人目	半額
3人目以降	無料

○ 病児・緊急対応の強化

15,500千円

参考 無償化による負担軽減額
13億8,005万円

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

・福島型オンライン授業の充実、読解力の向上と読書習慣の定着に向けた図書の充実、不登校児童生徒の支援体制の拡充、学校施設の改修など、地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長と質の高い学びを支えます。

I：学校教育の質向上

- 福島型オンライン授業  402,052千円
ICTを活用した新たな学びを日常的に授業に取り入れます。
- 新** デジタル教科書の全校導入(算数・数学科) 8,000千円(3月補正)
小学校5年生以上に算数科、中学校全学年に数学科のデジタル教科書を導入し、今後のデジタル教科書導入に向けた実証を行います。
- 読解力向上推進 3,639千円
- 新** 福島型個性をのばす教育 3,700千円
本市ゆかりの著名人や地元企業と連携してスポーツや文化芸術など各学校で特色ある教育を行い、可能性に挑戦する子どもを育成します。
- 新** 学校図書館のICT化  131,865千円(3月補正)
市立学校の学校図書館の電子化と学校間や市立図書館と連携するシステムを整備し、1人1台タブレット端末を活用して、児童生徒ひとり一人の読書活動や家庭学習の質向上を支援します。
- 頑張るふくしまっ子復興夢応援 2,000千円
- 中学生ドリームアップ(キャリア教育の推進) 7,003千円
- 外国語教育推進 108,611千円
- 学力向上サポート 11,088千円

II：学びの環境の充実

・地域の将来を担う子どもたちに、大切にされていると実感してもらえる学びの環境を提供します。

- 小・中学校屋内運動場改築 659,901千円
(4校(瀬上小、余目小、西信中、渡利中))
- 拡** 松陵中学校(松川地区義務教育学校)改築 1,775,802千円
本市初の義務教育学校開校へ向け改築工事に着手します。(令和7年4月開校予定)
- ふくしま支援学校校舎等改築 426,650千円
- 拡** 学校施設のリフレッシュ、バリアフリー化 445,888千円
校舎の外壁など、改修をスピードアップします。また、トイレのバリアフリー化を推進します。
- 新学校給食センター整備 11,491千円
北部・西部給食センターと、一部の単独校を統合した新たな給食センターの整備(PFI方式)に着手します。(令和8年4月供用開始予定)
- 学校図書館の図書整備 16,278千円
- いじめ・不登校対応推進 8,501千円
- 特別支援教育推進 166,127千円
- 拡** 公立夜間中学の開設に向けた準備(再掲) 42,757千円



4. 産業振興 ～将来にわたり持続可能な産業の創出～

- (1) 農林業の振興
- (2) 商工業の振興

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

34事業 33億4,048万円

(1) 農林業の振興

I：販売拡大・ブランド力向上

- スイーツ・プレミアム事業 10,500千円
- 新** 「ゆうやけベリー」ブランド確立 36,500千円
 福島県オリジナル新品種「ゆうやけベリー」を主力品種とすべく、生産する農業者に栽培環境整備にかかる費用を補助します。また、効果的な広報活動を実施します。
- 拡** ふくしまの農産物魅力アップ 2,946千円
- 農産物を活用した食品加工の産業化 3,113千円
- 福島駅前軽トラ市開催 6,982千円



II：新規就農支援

- 拡** 新規就農支援パッケージ 118,862千円

事業名	内容
農業体験	指導農家（センパイ農家さん）が農業体験を受け入れ
農業経営開始支援	月額5万円（最長2年）
農業用機械導入	機械等導入経費の1/3（上限30万円）
新規就農者育成総合対策	年間最大150万円、夫婦は225万円（最長3年） 機械・施設等導入経費の3/4（上限750万円）
農業メンターによるサポート	センパイ農家さんがサポート活動を実施（最長2年）
農地流動化支援	【賃貸借】年間賃借料の1/2（3年間） 【所有権移転】10aあたり2万円（どちらも上限20万円）



III：農林業の振興と被害対策

- 新** 米粉等利用拡大支援 6,672千円
 海外情勢の影響を受ける小麦粉の代替原料として、国内で唯一自給可能なコメを原料とした商品の開発から生産段階における取組を支援します。
- 拡** 鳥獣被害対策強化 62,189千円
- 新** ツキノワグマ被害特別対策 2,151千円
 被害対策に関する出前講座を実施します。また、野生鳥獣の被害が発生しにくい環境づくりを支援します。
- 新** 人・農地プラン法定化推進 9,024千円
- 農業経営継承支援 4,000千円
- 拡** スマート農業推進 1,000千円
- 福島大学食農学類との連携 2,255千円
- 新** 収入保険加入促進特別対策 2,621千円
 初めて収入保険に加入する年度に掛け金の助成率を引き上げ、加入を促進します。
 （令和7年度までの特別対策）

(保険料の支援率)	
初年度	50%
通常	5%・10%

初年度発生する費用の約7分の1相当

- 気候変動対応型農業の支援 8,050千円
- 拡** 森林経営管理の推進（後掲） 47,290千円
- ふくしま森林再生事業（後掲） 145,660千円
- 公設地方卸売市場の再整備推進 26,795千円

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

(2) 商工業の振興

I：地場企業の振興

- 特定集積産業事業拡大強化支援 10,000千円
- 医産連携推進 市内中小企業が実施する医療福祉機器関連の製品化や研究開発の費用の一部を補助します。
(補助率2/3 上限3,000千円) 12,056千円
- 新** 中小企業ゼロカーボン資金融資(後掲) 503,200千円
再エネ・省エネ設備導入を促進するため、市独自に制度融資を創設します。
- 拡** 若手ものづくり後継者育成(夢創塾) 990千円
業種を商業関連を含む中小企業に拡大します。
- 中小企業振興資金融資 759,800千円

II：新規創業支援

- 新** ポストコロナ対応デジタル化等支援(後掲) 30,000千円
ポストコロナに向けたデジタル化や創業支援など、事業者の新たな取り組みを支援します。
- 創業応援利子補給パッケージ 6,555千円

利子補給の内容	
1) 創業応援利子補給(全額補助)	創業融資に係る利子を1年間 第二創業・中心市街地での創業は2年間
2) 女性のための創業応援利子補給	創業融資に係る利子を2年間全額補助
- 新規創業者への経営指導支援 1,595千円
- 新** 創業支援トップセールス 500千円

III：企業誘致の推進

- 企業誘致トップセールス 1,000千円
- 企業誘致推進 4,398千円
- 企業立地セミナー開催 3,301千円
- 新** 福島市工業エリア戦略的販売促進 700千円
工業用途地域における未利用地等への企業進出促進のため、空撮動画を製作し、PR・展示会への出展等により、積極的な企業誘致活動を展開します。
- 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援(本社・支社機能の誘致推進) 10,000千円

拡 福島おおぞらインター工業団地 第2期整備 1,481,500千円

令和6年度に分譲募集開始に向けて、用地取得、造成工事等に着手します。



【第2期 全体計画】

- ① 開発面積 約20ha
- ② 用地取得面積 約19ha
- ③ 分譲面積 約16ha



IV：新しい働き方の推進

- クリエイティブビジネスサロン運営 18,270千円



5. 賑わいと文化

- (1) 街なかの活性化
- (2) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備
- (3) 観光対策の強化
- (4) シティセールス
- (5) 古閑裕而のまちづくり
- (6) オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり
- (7) 歴史・文化と調和したまちづくり

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

53事業 63億7,756万円

(1) 街なかの活性化

拡 街なかにぎわい創出

「街なか交流館」を賑わい創出の拠点として活用し、街なかの活性化を図ります。
また、街なか賑わい創出プロジェクト活動や学生等の街なかイベント支援により、さらなる賑わいを創出します。



33,617千円

○ まちなか広場の管理運営

5,079千円

拡 ももりんシェアサイクル運営

21,225千円

○ パークアンドライド運営

4,000千円

○ 商店街等活性化イベント支援

商店街等のイベント開催経費の一部を補助します。
(補助率1/2, 上限50万円ほか)
また、街なかテーマパークを開催し、賑わいを創出します。



44,000千円

新 多文化共生センターの開設(再掲)

13,300千円

空き店舗の活用

新 街なか再生リノベーション支援

20,000千円

○ 街なか空き店舗出店支援(家賃補助)

59,188千円

空き店舗に出店する際の家賃の一部を補助します。

対象エリア	区分	補助率		
		1年目	2年目	3年目
中心市街地 空き店舗 重点対策地域	1号店 (新規創業)	10/12	7/12	4/12
	2号店以降	8/12	6/12	4/12

(2) 中心市街地のまちづくりと公共施設の再編整備

風格ある県都を目指すまちづくり

拡 福島駅東口地区市街地再開発支援

2,710,800千円
(うち3月補正273,900千円)

○ 福島駅前交流・集客拠点施設整備

1,232千円
(12月補正で予算計上済)



事業の核となる福島駅東口の再開発事業を国・県とともに支援します。
また、駅前交流・集客拠点施設について、令和5年度中の運営事業者公募に向け準備を進めます。
(令和8年度完成予定)

拡 (仮称)市民センター整備

1,546,541千円

中央学習センター・市民会館等を複合化した「市民交流機能」のほか、「議会機能」、「防災機能」を備えた施設を整備します。

※立体駐車場を4段から5段に増床して、利便性向上を図ります。(令和6年度完成予定)
(継続費総額 63.8億円⇒67.9億円へ増)



道路整備事業

拡 市民会館周辺の改良(附属小前交差点ほか)

125,900千円

○ 県庁周辺(中町郵便局 ~ NHK福島放送局)の改良

50,000千円

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(3) 観光対策の強化

道の駅ふくしまを核とした地域振興

○ 道の駅ふくしま運営

地域情報の発信や新たな販路開拓の場等を提供し、地域振興の拠点としてにぎわいの創出と交流人口の拡大を図ります。



51,249千円

○ 春の花見山おもてなし

○ ふくしま花回廊推進

本市の観光のシンボルとして花観光を推進します。

●福島市花観光振興計画のR7目標
花観光スポットの満足度 90%



58,660千円

28,644千円

○ 「ふくしまステイ。」プロモーション

○ ロケツーリズム推進



12,100千円

3,959千円

【拡】 インバウンド誘客プロモーション

【新】 吾妻五葉松PR

日本三大五葉松の一つである本市の吾妻五葉松の魅力を発信し、国内外からの観光客増加を目指します。



2,000千円

【新】 磐梯吾妻ヒルクライム大会支援

2,300千円

○ 地域資源を活用した観光コンテンツ創造支援

10,000千円

温泉地活性化

○ 温泉地活性化推進

15,000千円

○ 福島三名湯ブランディング

6,000千円

福島が誇る三名湯について他の温泉地との差別化を図り、全国的な地位向上を目指します。



(4) シティセールス

○ 福島市応援関係人口の創出

本市ゆかりの首都圏在住者・経済人等との交流を行います。



3,965千円

○ ふるさと納税促進事業

本市のまちづくりを前面に打ち出し、賛同と共感を得ながら本市のファン拡大を図ります。

680,101千円

【拡】 シティセールス推進

3,596千円



マーケティングデータ分析ツールの活用とSNSによる情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図ります。

【新】 ふくしまMICEパッケージ

MICE誘致と開催支援の推進体制を強化します。また、新たにエクスカージョン支援を行います。



13,997千円

【新】 消費額日本一の名物料理コンテスト開催

1,000千円

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(5) 古関裕而のまちづくり

I : 古関裕而のレガシー活用

新 古関裕而野球殿堂入り記念イベントの開催

古関裕而氏の野球殿堂入りを記念し、古関氏作曲の応援歌にゆかりのある学校を招聘して、記念試合と応援合戦を行います。



5,000千円

○ 「古関裕而記念音楽祭2023」の開催

5,400千円

○ 「古関裕而作曲コンクール」の開催

古関裕而氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを開催し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出します。



16,300千円

○ 古関裕而ストリートの活用

メロディーボックスやARスポット等を整備した古関裕而ストリートを活用した音楽イベントを開催します。

2,400千円

○ 古関裕而記念館来館者おもてなし

2,610千円

拡 「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」のコンサート支援

音楽堂コンサート事業と合わせ、年4回の演奏会開催を支援します。

9,625千円

○ 古関裕而メロディーバス運行



16,996千円

II : 連続テレビ小説・エールを活用した観光交流

○ エールレガシー事業

23,370千円

連続テレビ小説『エール』をきっかけに認知された『古関裕而のまち福島市』。ロケ地だけでなく「自然景観」「温泉地」「フルーツ王国福島」としての魅力を引き継ぎ発信します。

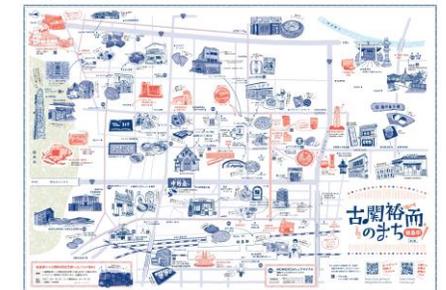
① 被災3県朝ドラ連携おかえりプロジェクト

連続テレビ小説の舞台となった岩手、宮城、福島の被災3県の都市が合同で首都圏に情報発信センター「おかえり館」を設置。首都圏在住者をターゲットに、各地の観光PR、商品販売、移住案内の拠点として、ドラマの舞台地周遊促進やイメージアップを図ります。



② エールドラマセット継続展示

街なか交流館で展示を継続します。



③ ロケ地、まち歩きマップ作成

④ SNSやWEBを活かしたデジタルプロモーション

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(6) オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

○ オリ・パラを契機とした健康づくり

(パラスポーツ振興事業)

東京2020パラリンピック大会で注目を集めたボッチャ競技の福島市長杯を開催します。



1,028千円

【拡】 バリアフリー推進パッケージ(再掲)

21,393千円

スポーツのまちづくり

【新】 「ふくしまシティハーフマラソン」の開催

県都ふくしまの中心市街地を駆け抜ける「ふくしまシティハーフマラソン」の第1回大会を開催します。

・5月21日(日) 信夫ヶ丘競技場スタート



66,000千円

○ 福島ユナイテッドFCと連携したにぎわい創出

15,000千円

【新】 オリ・パラレガシーの活用

東京2020大会におけるレガシーを最大限に活用し、国際交流試合を福島らしいおもてなしにより支援します。



3,000千円

【拡】 スポーツコミッションを通じたイベント・合宿誘致

9,072千円

○ スポーツ施設の整備推進

市相撲場、スケートボードパークの改修など、安全にスポーツを行える環境を整えます。



27,252千円

○ スポーツ施設の管理運営

446,708千円

(7) 歴史・文化と調和したまちづくり

【新】 文化振興計画・文化財保存活用地域計画の策定

568千円

特色ある文化を守り持続的に発展させるため、文化振興計画を策定します。また、文化財の保存継承と活用を図るため文化財保存活用地域計画の策定に着手します。

○ じょーもぴあ宮畑活用推進事業

6,949千円

○ しゃがむ土偶ドキドキ事業

各種イベントの開催やファンクラブ「ぴ〜ぐ〜♡会」の活動により「しゃがむ土偶ぴ〜ぐ〜」の魅力を広く発信します。



2,386千円

○ 写真美術館の活用推進

秋山庄太郎写真展の開催など、大正時代に建てられた近代建築の遺構を活用します。



37,932千円

【新】 旧広瀬座再整備

国指定重要文化財である旧広瀬座の保存修理と耐震補強・設備改修を実施します。(令和7年度完成予定)



42,515千円

○ 『民家園』の活用推進

民家園に現存する10棟の文化財を保存・活用し、魅力を発信します。

・旧菅野家の保存改修
・地域一帯で盛り上げる園内行事開催



73,007千円

○ ふくぶん(福島らしい文化)の発信

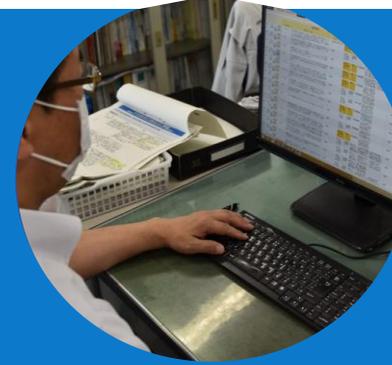
福島が誇る文化施設(古閑裕而記念館・音楽堂、写真美術館、じょーもぴあ宮畑、民家園)から、「福島らしい文化」の魅力を広く発信します。



4,100千円

【新】 (仮称)アートストリートふくしまの開催

500千円



6. デジタル都市の形成と 地域経営のリノベーション

- (1) デジタルで市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- (2) 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化
- (3) デジタルで市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- (4) 『共創』によるまちづくり
- (5) 持続可能な行財政経営

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

42事業 12億6,934万円

(1) デジタルで市民サービスの向上と行政の高度化・効率化

I：市民サービスの向上

新 戸籍・住民票・税証明のオンライン申請開始	2,751千円
来庁せずに各種証明書を受け取れるよう、マイナンバーカードを利用して、オンラインで申請・決済を可能にします。	
○ おくやみ窓口の運営	549千円
○ マイナンバーカード取得促進	129,413千円
拡 LINEによる情報発信・市民通報、各種イベント予約	5,629千円
予約できる各種相談・講座・イベント等を拡大します。	



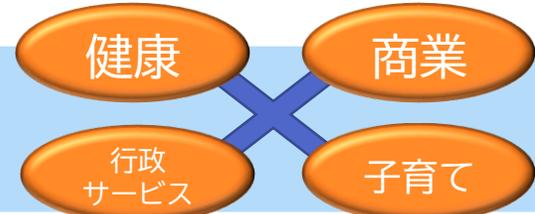
II：行政の高度化・効率化

新 電子入札の実施	5,847千円
○ ICT活用による業務効率化	6,577千円
拡 災害対策オペレーションシステムの運用 河川水位予測システムの導入(再掲)	65,717千円 (うち3月補正43,800)
○ 議会答弁検討システムの運用	924千円
○ セキュリティ強靱化対策	21,305千円

新 先導的プロジェクトの開発

市内各界の代表者で構成する「ふくしまデジタル推進協議会」において、オープンなデータ連携基盤を活用し、健康・行政サービス・商業・子育ての4分野における市民の利便性向上や地域課題の解決を図る先導的デジタルサービスの開発を目指します。

3,600千円



(2) 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

・地域総ぐるみの新たな枠組みを設けて、デジタル活用が不得手な方にもやさしくサポートしてデジタル化を強力に進めます。

新 地域活性化起業人の活用	13,700千円
総務省の制度を活用して富士通Japan株式会社の社員(デジタル人材)を受け入れ、地域全体のデジタル化を一層推進します。	
新 デジタル人材バンクの設置運営	500千円
新 スマートフォン利活用支援講座開催	14,307千円
スマートフォンの入門・活用講座やシニアICTサポーター育成講座、出前講座を年150回程度開催します。	
新 ふくしまデジタルサポートデスクの設置運営	4,853千円
デジタルに関することならどんなことでも相談可能な相談窓口を設置します。	
新 シルバー人材センターICT班活動支援	840千円
拡 マイナポイント申込手続きサポート	18,539千円
R5年2月末までとなっていたポイント申込期限の延長により、引き続き、本庁、6支所(清水・北信・飯坂・松川・信夫・吾妻)にサポート窓口を設置します。	

6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(3) デジタルで市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興

I : 市民生活の向上

- 電子町内会活動促進(後掲) 1,034千円
- 健康づくりで競争(共創)チャレンジ 1,452千円
- 見守り機能の充実(認知症の徘徊・保育での見守り) 101,312千円
(一部12月・3月補正で予算計上済)
- 12誘導心電図伝送システムによる救命率向上(再掲) 361千円
- 保育所・幼稚園の登園管理システム運用 14,573千円
- 福島型オンライン授業(再掲) 402,052千円
- 新入学児家庭Wi-Fi環境整備支援 400千円
- 学校図書館のICT化(再掲) 131,865千円
(3月補正)
- 電子図書館の運用 3,411千円
- こむこむ館リニューアル 62,405千円
(3月補正)
プロジェクションマッピングを活用したデジタルコンテンツを導入します。
- デジタルスタンプラリーの開催 32,764千円
(ふくしま花回廊、ふくしま圏域)
- ももりんシェアサイクル運営 21,225千円
- 公共施設予約システム運用 23,097千円



II : 経済の向上

- スマート農業推進(再掲) 1,000千円
- ポストコロナ対応デジタル化等支援 30,000千円
ポストコロナに向けたデジタル化や創業支援など、事業者の新たな取り組みを支援します。
- クリエイティブビジネスサロン運営(再掲) 18,270千円
シェアオフィス、コワーキングスペース及びミーティングルームを備えた、新たな働き方に対応したビジネス環境を提供します。
- 創業ゾーンにおけるクリエイティブ産業の集積 20,000千円
街なかの空き店舗をリノベーションする創業者を支援し、デジタル関連事業者やクリエイターなど都市型創造産業の交流人口拡大を期す、「創業ゾーン」の形成を目指します。

支援内容	
対象経費	委託料・工事費等
補助率	3分の2 (上限30万円)



対象者	補助率	補助上限
クリエイティブ産業	2/3以内	2,000千円
各種産業	1/2以内	

【創業ゾーンイメージ】



6. デジタル都市の形成と地域経営のリノベーション

(4) 『共創』によるまちづくり

電子町内会の活動促進

- 拡** 町内会活動において電子メールやウェブサイト等のICTツールを活用して会員まで送付するなど、情報伝達の電子化の取り組みを促進します。 1,034千円



◀松川町の石合町内会のホームページ

- 新** 市政情報発信の多重化 960千円

dボタンを活用した市政情報の発信を試験導入します。身近にあるテレビからも最新情報が確認できます。

- ふくしま元気トークの開催 206千円

- 地域コミュニティ等活動支援 18,132千円

地域ごとの主体的な取り組みにかかる経費の一部を補助します。アプリなどを使った健康づくりに熱心な地域には、まちづくりのための資金を加算して支援します。



- 拡** 地域おこし協力隊の活用(6地区) 30,593千円

(5) 持続可能な行財政経営

- 新** システムの標準化とガバメントクラウドへの対応 31,460千円

- 拡** 連携中枢都市圏の形成による広域的発展 22,160千円

ふくしま圏域9市町村の持つ都市機能や強み、特長等を生かし、魅力あふれる圏域の実現に向けた取組を連携して推進します。

実施する主な事業

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| ①圏域外の自治体とも連携した新たな広域連携組織を設立し、魅力を発信 | ③圏域周遊による移住定住ツアー、婚活イベントの実施 |
| ②新たなビジネス創出や新規取引拡大を促進するビジネスマッチングの開催 | ④圏域内外の交流拡大を目的とした小学生サッカー交流大会の開催 |

- 拡** 都市間交流の推進 2,519千円

友好都市協定を締結した東京都荒川区との交流、パートナーシティ協定を締結した愛知県豊橋市との交流、交流都市山口市との物産や観光を通じた交流などにより、本市のさらなる魅力発信と交流人口の拡大に取り組みます。

- 産官学連携プラットフォームの推進 2,000千円

産業界・市・大学等による連携体制「福島市産官学連携プラットフォーム」を活用し、若者の地元定着や人材育成等の地域課題の解決に取り組みます。

- 有利な財政制度の活用

新たに創設される脱炭素化推進事業債（仮称）の活用など、交付税措置のある有利な市債を最大限活かします。

最小の経費で最大の効果





7. ゼロカーボンの推進

- (1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進
- (2) 森林整備、木材利活用の推進
- (3) ごみ減量化の推進

7. ゼロカーボンの推進

20事業 18億8,116万円

(1) 再生可能エネルギー活用・省エネ化の推進

I：事業者向け支援

新 中小企業ゼロカーボン資金融資 503,200千円

再エネ・省エネ設備導入を促進するため、市独自に制度融資を創設します。

資金使途	設備開発（運転）・設備投資		
貸付限度額	5,000万円	貸付期間	15年以内
利率(予定)	1.5~2.0%	信用保証料	2/3を補助

新 事業者省エネ設備導入支援 105,500千円

事業継続と経営効率化、温室効果ガス削減に資する省エネ機器への更新費用を支援します。



(11月補正で予算計上済)

○ 再生可能エネルギー(小水力)導入促進 1,000千円

小水力発電のポテンシャル調査費用を補助します。
(補助率1/3 上限50万円)

○ 水素活用の普及推進 2,525千円

FCV(水素自動車)の普及を図るため、市独自に最大20万円を補助します。

III：公共施設での活用推進

新 公共施設への太陽光発電導入推進 3,800千円

民間資金を活用し、公共施設への太陽光発電設備導入を推進します。



○ 公共施設の省エネ化 53,000千円

支所・学習センター照明のLED化を推進します。
(R5:西・信陵支所学習センター、飯坂・北信学習センター)

II：家庭向け支援

新 脱炭素生活スタイル普及啓発 2,000千円

国・県の制度も含め、活用可能な補助制度をわかりやすく取りまとめ、効果的な断熱改修や設備設置の方法をお知らせします。

拡 脱炭素住宅整備促進 37,300千円

脱炭素住宅整備費用の一部を補助します。

対象設備	支援内容
・太陽光発電システム	4万円(定額)
・蓄電池	1万円/Kwh(上限10万円) (新 蓄電池単体での申請も可)
・HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)	1万円(定額)
新 家庭用EV(電気自動車)充電設備	設置費用の1/3(上限2万円)
・V2H(ヴァイカルトゥホーム)機器	10万円(定額)

拡 街路灯・道路照明灯のLED化推進 117,800千円

拡 公用車のエコ化・再生可能エネルギー活用推進 29,505千円

公用車の電気自動車への置き換えを計画的に進めます。
充電にはあらかじめクリーンセンターのバイオマス発電を利用します。

新 ふくしま☆スタイル住宅整備(後掲) 318,000千円

省エネ性能にも配慮し、新婚、子育て世帯が福島に住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅を整備し、モデルルームとして公開します。

7. ゼロカーボンの推進

(2) 森林整備、木材利活用の推進

I：森林整備

拡 森林経営管理の推進

47,290千円

森林を適切に管理するため、森林所有者に対する意向調査を実施し、経営管理権集積計画を作成します。また、計画に基づく森林整備を実施します。
(R5は吾妻地区：20haを予定)



○ ふくしま森林再生事業

145,660千円

間伐や下草刈、路網整備を一体的に実施します。
(飯坂、西、吾妻、東部の各地区で実施)

○ 林業専用道路の整備

43,050千円

吾妻地区の林道を整備します。(上古屋線)

○ 森林病虫害被害防止対策

22,053千円

II：普及啓発

○ 森林環境学習、保存活動の支援

14,287千円

小学校が実施する体験学習や観察学習など森林環境学習を支援します。また、町内会が実施する樹木の保存活動を支援します。

○ 植樹祭の開催

1,000千円

飯野町千貴森において記念式典や植樹イベントを実施し、森林の持つ多面的機能の普及啓発を行います。

III：木材利用促進

○ 公共施設のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化(清水支所)

376,413千円

本市公共施設初となるZEBに対応した木造庁舎の整備を進めます。
(R5完成予定)

太陽光発電・蓄電池を設置し、災害時は避難所として活用可能
(ZEB認証予定)

新 旧広瀬座の再整備(再掲)

42,515千円

国指定重要文化財である旧広瀬座の保存修理と耐震補強・設備改修を実施します。
(令和7年度完成予定)

東隣には木造のトイレ棟を新たに整備し、利用しやすい環境を整備します。



(3) ごみ減量化の推進

拡 ごみ減量化促進対策

15,264千円

(生活系) 市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみ減量化・資源化を促進します。
また、ダンボールコンポスト購入費助成など、生ごみの減量化を促進します。

(事業系) 「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」を安く提供する店舗と市民とをマッチングするフードシェアリングサービスを開始し、食品ロスの削減を目指します。





8. 移住・定住の促進、女性活躍社会の形成

- (1) 移住の積極的推進
- (2) 結婚・定住しやすい環境整備
- (3) 女性活躍の推進

8. 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

17事業 5億7,699万円

(1) 移住の積極的推進

新 移住コーディネーターによるサポート

- おためし移住体験
- 移住定住相談支援
- 広報推進
- 移住新生活応援
- 多世帯同居・近居支援



4,715千円
102千円
1,468千円
3,834千円
10,664千円
3,700千円

拡 UIターン移住支援

22,342千円

拡 空家等対策推進

18,610千円

- クリエイティブビジネスサロン運営(再掲)

18,270千円

- 『ゆとり満喫福島オフィス』開設支援事業(再掲)

10,000千円

(3) 女性の活躍推進

拡 女性の起業チャレンジ応援

「起業」に焦点をあて、初めの一步から起業開始まで継続的に支援します。



592千円

- 女性の創業応援利子補給(再掲)

2,311千円

- 働く女性応援 (2年間全額補助)

1,227千円

- 女性の資格取得支援(ひとり親)

13,365千円

(2) 結婚・定住しやすい環境整備

拡 出会いの場創出

4,154千円

独身男女に対する出会いの場の提供や、ライフサポーター、マリッジサポーターによる出会い・結婚相談事業を実施します。

拡 結婚新生活応援

143,640千円

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯のスタートアップを支援します。



区分	補助額(最大)	
	1年目	2年目
①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)	15万円	-
②家賃支援	24万円	24万円
③マイホーム購入・リフォーム支援	3年目までの取得で30万円	

新 ふくしま☆スタイル住宅整備

318,000千円

省エネ性能にも配慮し、新婚、子育て世帯が福島に住んで良かったと実感できる魅力ある市営住宅を整備します。

①新たな住宅建設

1Fは高齢者向けの公営住宅
2Fは若者・子育て世帯向けの地域優良賃貸住宅として整備します。

②市営住宅リノベーション

入居者が自由にアレンジできるDIY住宅と民間事業者とのコラボによるリノベーション住宅を整備します。



▲イメージ



▲リノベーション住宅イメージ

Ⅲ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進（資料編）

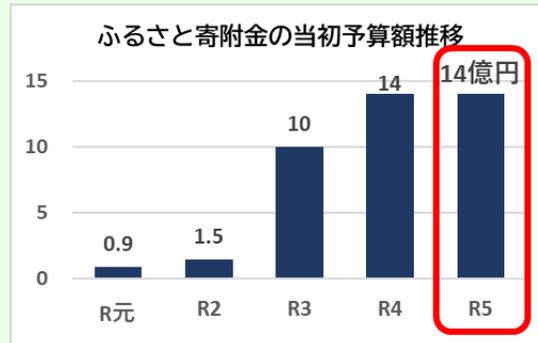
1 財源の確保

将来にわたり持続可能な財政運営を維持するとともに、社会情勢の変化や新たな地域の課題に対応する緊急度・優先度の高い事業に予算を振り向けるため、市税をはじめとする自主財源の確保、事務事業の見直し、交付税措置のある有利な市債の活用に努めました。

（1）自主財源の確保

- **市税の増加** 予算額 407億円
歳入の根幹となる市税は、給与所得の増加などを反映し、前年度より増加を見込んでいます。
(対前年度比 +7億円)

- **ふるさと寄附金の確保** 予算額 14億円
市のまちづくりの方向性や魅力をPRし、賛同と共感を得ながら、引き続きふるさと寄附金の確保を目指します。



- **ネーミングライツ収入の拡大** 予算額 2,079万円
新たにふくしまスカイパーク、福島市庭球場、信夫ヶ丘競技場にネーミングライツを導入し、民間事業者との連携で収入を拡大します。
(対前年度比 +363万円)

【既に導入している施設】

キョウワグループ・テルサホール	ふくしん夢の音楽堂
NCVふくしまパークゴルフ場	福島トヨタ クラウンアリーナ
NCVふくしまアリーナ	ふくしま児童公園SFCももりんパーク

- **広告料収入の拡大** 予算額 990万円
新たにクリーンガイドブック、シェアサイクル、福島市子育てポータルサイトで企業広告を募集し、広告料収入を拡大します。
(対前年度比 +340万円)

【既に導入しているもの】

市政だより	市ホームページ
番号案内表示システム	福島駅西口エールビジョン

- **市有財産の売却による収入の確保**
● 残地や用途のなくなった代替地など、過去の道路整備で取得した未利用地を売却し、収入を確保します。
● 分別収集したペットボトルや金属類などの資源物を売却することで、収入を確保します。

予算額 2億2,132万円 (対前年度比 +8,548万円)

(2) 事務事業の見直し等による財源の捻出

- 経常的な事務事業の予算編成では、義務的経費等を除いてマイナス5%シーリングの枠配分方式を導入し、各部局における主体的な見直しを行いました。
- 政策的な経費についても、事業の実績・効果とコストの検証を踏まえた事業の見直し・再構築に努めました。
- デジタル技術の活用による業務の効率化・コストの削減に努めました。
 - 電子媒体活用による印刷製本費や消耗品費の削減
 - WEB会議活用による旅費の削減
 - 電子申請やRPA、AI-OCR等による業務効率化
- 照明のLED化や太陽光発電機の設置等の公共施設の省エネルギー化・再生可能エネルギー導入により、電気料の抑制を図ります。

➡ 削減額 約1億700万円

(3) 有利な市債の活用

- 公共施設やインフラ施設の整備に充当する市債について、地方交付税措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に努めました。

(単位 千円)

区分	予算額	比率	措置見込額 (元金ベース)	措置率
臨時財政対策債	1,400,000	15.6%	1,400,000	100.0%
事業充当の市債	7,583,900	84.4%	2,611,819	<u>34.4%</u>
交付税措置あり	5,636,000	<u>62.7%</u>	2,611,819	46.3%
交付税措置なし	1,947,900	21.7%	-	0.0%
計	8,983,900	100.0%	4,011,819	44.7%
(実質的な借金)			4,972,081	55.3%

(4) 基金の活用

- 財政調整基金をはじめとする各種基金を有効に活用しました。
- 基金の年度末残高の合計は、令和4年度末現在高よりも37億円減少する見込みです。

基金繰入金 17基金 45億5,925万円

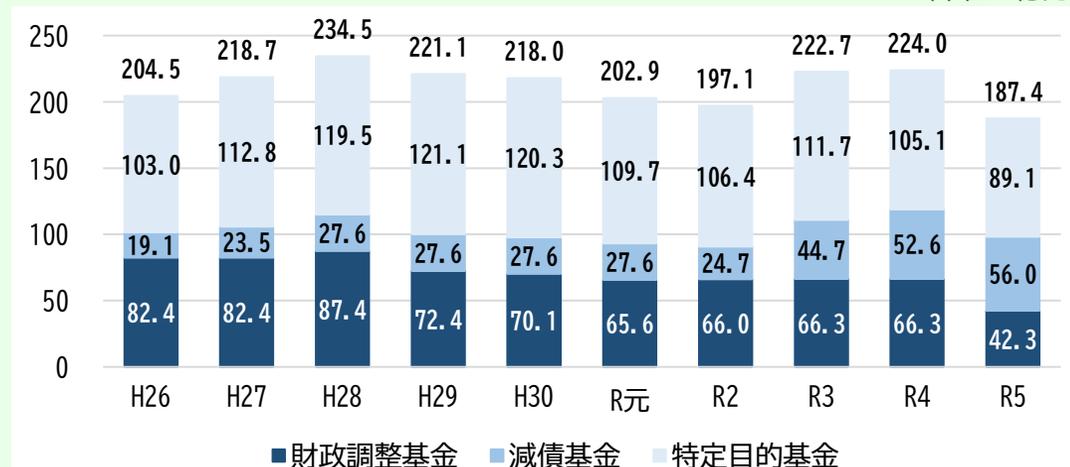
(単位 千円)

基金名	繰入額
財政調整基金	2,400,000
減債基金	491,180
特定目的基金	1,668,073
庁舎整備基金	975,997
環境基金	254,892
公共施設建設基金	204,586
その他12基金	232,598
計	4,559,253

※ 庁舎整備基金繰入金975,997千円のうち833,200千円は減債基金に積み立て、(仮称)市民センター建設で借り入れる起債の元利償還に充てていきます。

年度末基金残高の推移

(単位 億円)



2 一般会計歳入の状況

(1) 科目別歳入予算

款	令和5年度		令和4年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	40,700,000	35.5	40,000,000	34.5	700,000	1.8
2 地方譲与税	1,038,154	0.9	1,079,813	0.9	△ 41,659	△ 3.9
3 利子割交付金	14,000	0.0	30,000	0.0	△ 16,000	△ 53.3
4 配当割交付金	109,000	0.1	110,000	0.1	△ 1,000	△ 0.9
5 株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.0	55,000	0.0	1,000	1.8
6 法人事業税交付金	720,000	0.6	684,000	0.6	36,000	5.3
7 地方消費税交付金	7,570,000	6.6	7,018,000	6.1	552,000	7.9
8 ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	6,000	0.0	△ 1,000	△ 16.7
9 環境性能割交付金	67,000	0.1	76,000	0.1	△ 9,000	△ 11.8
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,932	0.0	1,906	0.0	26	1.4
11 地方特例交付金	292,051	0.3	240,169	0.2	51,882	21.6
12 地方交付税	12,000,000	10.5	10,800,000	9.3	1,200,000	11.1
13 交通安全対策特別交付金	39,000	0.0	42,000	0.0	△ 3,000	△ 7.1
14 分担金及び負担金	535,579	0.5	611,383	0.5	△ 75,804	△ 12.4
15 使用料及び手数料	1,523,377	1.3	1,545,919	1.3	△ 22,542	△ 1.5
16 国庫支出金	21,122,108	18.4	23,144,039	20.0	△ 2,021,931	△ 8.7
17 県支出金	10,582,556	9.2	12,509,327	10.8	△ 1,926,771	△ 15.4
18 財産収入	352,573	0.3	430,204	0.4	△ 77,631	△ 18.0
19 寄附金	1,641,225	1.4	1,661,764	1.4	△ 20,539	△ 1.2
20 繰入金	4,657,228	4.1	2,945,659	2.6	1,711,569	58.1
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	0.0
22 諸収入	2,689,316	2.4	2,304,516	2.0	384,800	16.7
23 市債	8,983,900	7.8	10,604,300	9.2	△ 1,620,400	△ 15.3
合 計	114,700,000	100.0	115,900,000	100.0	△ 1,200,000	△ 1.0

(単位 千円、%)

主な増減理由

1 市税

- 市民税 177億4,800万円 (△2億6,200万円)
 - ・ 給与所得の増加により個人市民税が増加
 - ・ 製造業等の利益減少から法人市民税が減収
- 固定資産税 170億3,000万円 (+6億7,200万円)
 - ・ 新築家屋及び設備投資による増

7 地方消費税交付金

- ・ 消費活動の増加と物価高騰による増

12 地方交付税

- 普通交付税 107億円 (+12億円)
 - ・ 高齢者人口の増加や電気料金高騰を反映した需要額の増
 - ・ 国の地方財政計画を反映した臨時財政対策債振替相当額の減による増

16 国庫支出金

- ・ 福島駅東口地区再開発事業に係る国庫補助金の減
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減

17 県支出金

- ・ 除去土壌関連事業の進捗による県負担金の減
- ・ 福島駅東口地区再開発事業に係る県補助金の減

20 繰入金

- ・ 財政調整基金繰入金の増
- ・ (仮称)市民センター整備事業の進捗による庁舎整備基金繰入金の増

23 市債

- 臨時財政対策債 14億円 (△20億円)
 - ・ 国の地方財政計画における臨時財政対策債の減
- 事業充当の市債 75億8,390万円 (+3億7,960万円)
 - ・ (仮称)市民センター整備事業の進捗による増
 - ・ 松陵中学校校舎等改築事業の進捗による増

(2) 自主財源と依存財源の内訳

区 分	除染関連事業の財源2,010,000千円を除いた場合						(単位 千円、%)	
	令和5年度			令和4年度			増 △ 減	
	予算額	構成比		予算額	構成比	予算額	増減率	
			除染事業除き					
自主財源								
市税	40,700,000	35.5	36.1	40,000,000	34.5	700,000	1.8	
分担金及び負担金	535,579	0.5	0.5	611,383	0.5	△ 75,804	△ 12.4	
使用料及び手数料	1,523,377	1.3	1.4	1,545,919	1.3	△ 22,542	△ 1.5	
財産収入	352,573	0.3	0.3	430,204	0.4	△ 77,631	△ 18.0	
寄附金	1,405,295	1.2	1.3	1,405,785	1.2	△ 490	0.0	
繰入金	4,657,228	4.1	4.1	2,945,659	2.5	1,711,569	58.1	
繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	-	0.0	
諸収入	2,640,733	2.3	2.3	2,264,626	2.0	376,107	16.6	
小 計	51,814,786	45.2	46.0	49,203,577	42.4	2,611,209	5.3	
地方譲与税	1,038,154	0.9	0.9	1,079,813	0.9	△ 41,659	△ 3.9	
利子割交付金	14,000	0.0	0.0	30,000	0.0	△ 16,000	△ 53.3	
配当割交付金	109,000	0.1	0.1	110,000	0.1	△ 1,000	△ 0.9	
株式等譲渡所得割交付金	56,000	0.1	0.1	55,000	0.1	1,000	1.8	
法人事業税交付金	720,000	0.6	0.6	684,000	0.6	36,000	5.3	
地方消費税交付金	7,570,000	6.6	6.7	7,018,000	6.1	552,000	7.9	
ゴルフ場利用税交付金	5,000	0.0	0.0	6,000	0.0	△ 1,000	△ 16.7	
環境性能割交付金	67,000	0.1	0.1	76,000	0.1	△ 9,000	△ 11.8	
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,932	0.0	0.0	1,906	0.0	26	1.4	
地方特例交付金	292,051	0.3	0.3	240,169	0.2	51,882	21.6	
地方交付税	12,000,000	10.5	10.7	10,800,000	9.3	1,200,000	11.1	
交通安全対策特別交付金	39,000	0.0	0.0	42,000	0.0	△ 3,000	△ 7.1	
国庫支出金	21,122,108	18.4	18.7	23,144,039	20.1	△ 2,021,931	△ 8.7	
県支出金	10,582,556	9.2	7.6	12,509,327	10.8	△ 1,926,771	△ 15.4	
寄附金	235,930	0.2	0.2	255,979	0.2	△ 20,049	△ 7.8	
諸収入	48,583	0.0	0.0	39,890	0.0	8,693	21.8	
市債	8,983,900	7.8	8.0	10,604,300	9.1	△ 1,620,400	△ 15.3	
小 計	62,885,214	54.8	54.0	66,696,423	57.6	△ 3,811,209	△ 5.7	
合 計	114,700,000	100.0	100.0	115,900,000	100.0	△ 1,200,000	△ 1.0	

3 一般会計歳出の状況

(1) 科目別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議会費	644,774	0.6	644,786	0.6	△ 12	0.0
2 総務費	12,271,058	10.7	11,630,263	10.0	640,795	5.5
3 民生費	43,800,442	38.2	43,276,119	37.3	524,323	1.2
4 衛生費	11,016,379	9.6	11,470,389	9.9	△ 454,010	△ 4.0
5 労働費	102,741	0.1	167,275	0.1	△ 64,534	△ 38.6
6 農林水産業費	2,223,082	1.9	2,044,088	1.8	178,994	8.8
7 商工費	3,207,687	2.8	2,954,343	2.5	253,344	8.6
8 土木費	12,896,423	11.2	15,377,159	13.3	△ 2,480,736	△ 16.1
9 消防費	3,116,253	2.7	3,179,362	2.7	△ 63,109	△ 2.0
10 教育費	13,266,920	11.6	12,252,775	10.6	1,014,145	8.3
11 災害復旧費	2,010,000	1.7	3,240,000	2.8	△ 1,230,000	△ 38.0
12 公債費	9,844,241	8.6	9,363,441	8.1	480,800	5.1
13 予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	-	0.0
合 計	114,700,000	100.0	115,900,000	100.0	△ 1,200,000	△ 1.0

主な増減理由

2 総務費

- ・ (仮称) 市民センター整備事業費の増

3 民生費

- ・ 児童発達支援事業費の増
- ・ 後期高齢者医療費療養給付費負担金の増
- ・ 出産・子育て応援交付金の増

4 衛生費

- ・ 衛生処理場整備事業費の減

5 労働費

- ・ 職業訓練技能センター費の減

6 農林水産業費

- ・ 「ゆうやけベリー」ブランド化推進事業費の増
- ・ 農業施設災害防止緊急対策事業費の増
- ・ 農村地域防災減災事業費の増

7 商工費

- ・ 中小企業ゼロカーボン資金融資預託金の増

8 土木費

- ・ 福島駅東口地区市街地再開発事業費の減

9 消防費

- ・ 福島消防署清水分署整備事業費の減

10 教育費

- ・ 松陵中学校校舎等改築事業費の増

11 災害復旧費

- ・ 除去土壌搬出等推進事業費の減

(2) 性質別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

性 質 別	令和5年度		令和4年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	18,680,290	16.3	19,339,338	16.7	△ 659,048	△ 3.4
扶助費	26,993,124	23.5	26,412,569	22.8	580,555	2.2
公債費	9,848,308	8.6	9,367,508	8.1	480,800	5.1
小 計	55,521,722	48.4	55,119,415	47.6	402,307	0.7
消費的経費						
物件費	21,024,188	18.3	20,545,049	17.7	479,139	2.3
維持補修費	1,679,769	1.5	1,610,065	1.4	69,704	4.3
補助費等	8,937,664	7.8	9,234,318	8.0	△ 296,654	△ 3.2
小 計	31,641,621	27.6	31,389,432	27.1	252,189	0.8
投資的経費						
普通建設事業費(補助)	8,494,795	7.4	10,023,660	8.6	△ 1,528,865	△ 15.3
普通建設事業費(単独)	3,896,103	3.4	4,953,128	4.3	△ 1,057,025	△ 21.3
小 計	12,390,898	10.8	14,976,788	12.9	△ 2,585,890	△ 17.3
災害復旧費						
災害復旧費(補助)	2,010,000	1.8	3,240,000	2.8	△ 1,230,000	△ 38.0
災害復旧費(単独)	13,136	0.0	17,479	0.0	△ 4,343	△ 24.8
小 計	2,023,136	1.8	3,257,479	2.8	△ 1,234,343	△ 37.9
その他						
積立金	908,879	0.8	173,832	0.1	735,047	422.8
投資及び出資金	90	0.0	90	0.0	-	0.0
貸付金	1,788,196	1.5	920,736	0.8	867,460	94.2
繰出金	10,125,458	8.8	9,762,228	8.4	363,230	3.7
予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	-	0.0
小 計	13,122,623	11.4	11,156,886	9.6	1,965,737	17.6
合 計	114,700,000	100.0	115,900,000	100.0	△ 1,200,000	△ 1.0

主な増減理由

人件費

- ・ 定年年齢引き上げによる職員退職手当の減

扶助費

- ・ 児童発達支援事業費の増
- ・ 生活保護扶助費の増

公債費

- ・ 長期債償還元金の増

物件費

- ・ 電気料金高騰による光熱水費の増

補助費等

- ・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費の減
- ・ 出産・子育て応援交付金の増

普通建設費

- ・ 福島駅東口地区市街地再開発事業費の減
- ・ 松陵中学校校舎等改築事業費の増
- ・ (仮称)市民センター整備事業費の増

災害復旧費

- ・ 除去土壌搬出等推進事業費の減

積立金

- ・ 減債基金積立金の増

貸付金

- ・ 中小企業ゼロカーボン資金融資預託金の増
- ・ 福島駅東口地区市街地再開発事業資金貸付金の増

繰出金

- ・ 後期高齢者医療費療養給付費負担金の増
- ・ 介護保険事業費特別会計繰出金の増

(3) 地方消費税交付金（社会保障財源分）が充てられる社会保障施策経費

地方消費税の税率引上分による税収は、年金・医療・介護・少子化対策などの社会保障施策に必要な経費に充てることとされています。

令和5年度歳入における地方消費税交付金のうち、社会保障財源分は41.3億円を見込んでおり、この収入は下記の社会保障施策の一般財源に充てております。

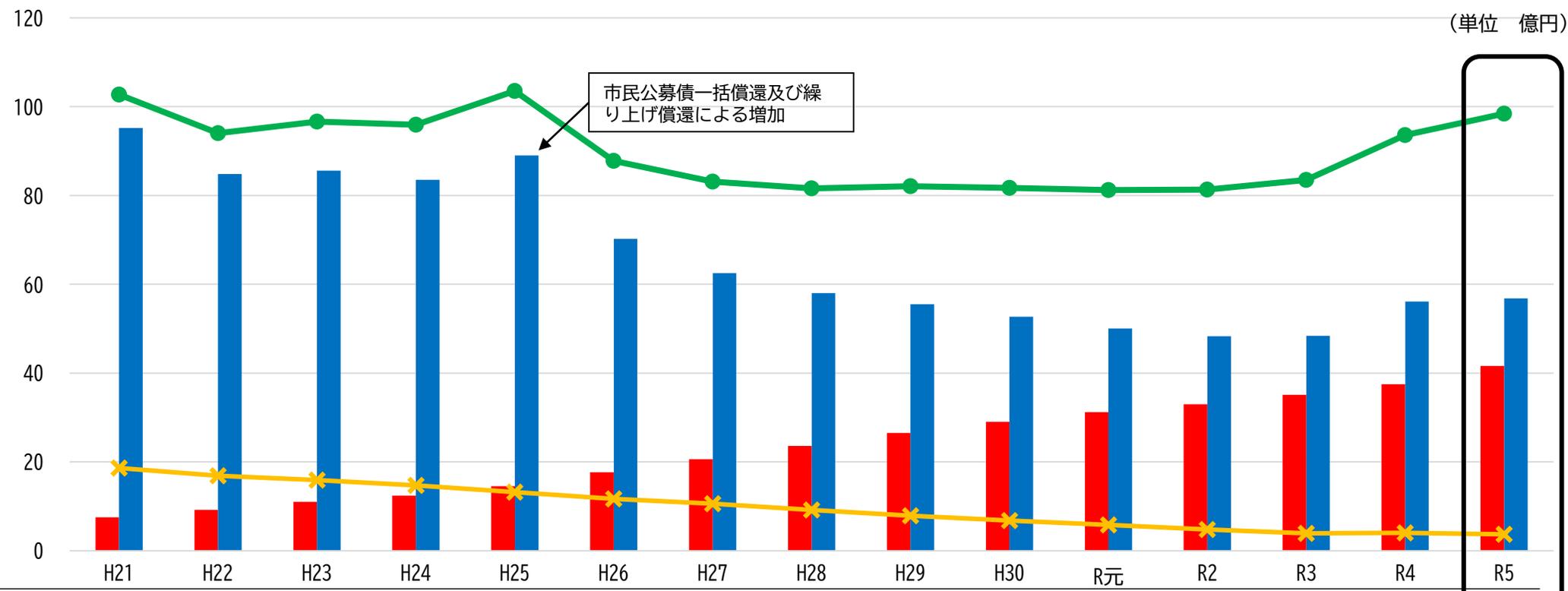
(単位 千円)

	事業名	予算額	財源内訳	
			特定財源	一般財源
社会福祉費	社会福祉総務費	882,489	33,458	849,031
	国民健康保険事業費特別会計繰出金	1,900,154	855,082	1,045,072
	障害者福祉費	7,094,301	4,966,804	2,127,497
	老人福祉費	1,353,548	452,006	901,542
	介護保険費	4,288,457	257,279	4,031,178
	後期高齢者医療費	3,754,437	546,840	3,207,597
	小計	19,273,386	7,111,469	12,161,917
児童福祉費	児童福祉総務費	2,039,502	864,566	1,174,936
	児童措置費	16,969,760	11,094,279	5,875,481
	児童福祉施設費	112,912	7,176	105,736
	小計	19,122,174	11,966,021	7,156,153
生活保護費	生活保護総務費	350,164	48,773	301,391
	扶助費	4,979,316	3,734,487	1,244,829
	小計	5,329,480	3,783,260	1,546,220
保健衛生費	保健衛生総務費	668,759	8,443	660,316
	保健所費	2,805,690	1,751,221	1,054,469
	保健指導費	456,870	89,593	367,277
	健康増進費	890,991	143,613	747,378
	予防費	851,165	9,891	841,274
	小計	5,673,475	2,002,761	3,670,714
幼稚園費	幼稚園費	446,212	19,478	426,734
合計		49,844,727	24,882,989	24,961,738

4 市債の状況

(1) 公債費の推移

- 令和5年度の公債費予算額は、前年度より4.8億円（5.1%）増の98.4億円となりました。
- 低い長期金利が続いていたため利子は減少しますが、元金償還額が5.1億円増える見込みです。
- 臨時財政対策債の償還額が一貫して増加していますが、それ以外の事業充当市債等の償還額も令和3年度から上昇に転じています。

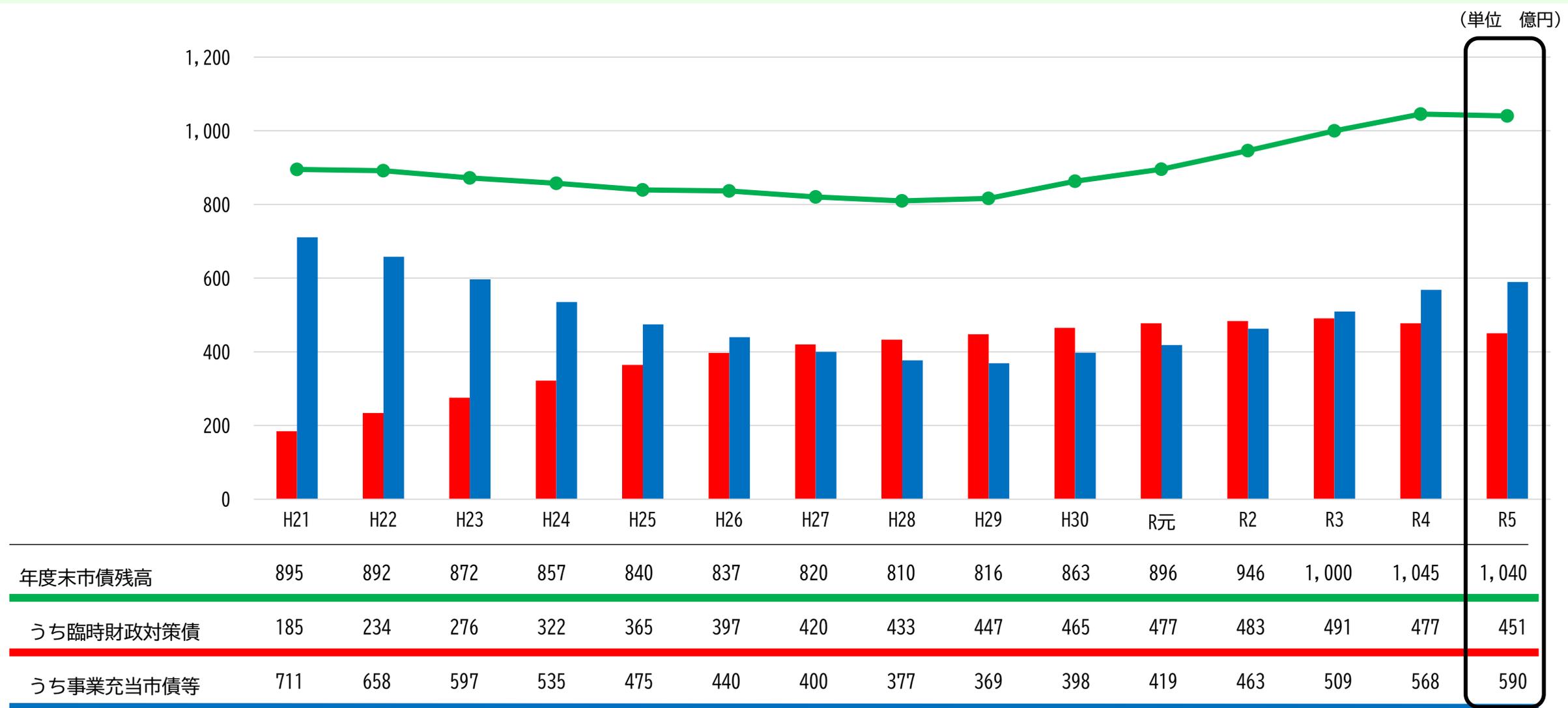


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
公債費	102.7	94.0	96.6	95.9	103.5	87.8	83.1	81.6	82.1	81.7	81.2	81.3	83.5	93.6	98.4
うち臨時財政対策債	7.5	9.2	11.0	12.4	14.5	17.7	20.6	23.6	26.5	29.0	31.2	33.0	35.1	37.5	41.6
うち事業充当市債等	95.2	84.8	85.6	83.5	89.0	70.2	62.5	58.0	55.5	52.7	50.0	48.3	48.4	56.1	56.8
うち利子（再掲）	18.6	16.9	15.9	14.7	13.2	11.7	10.6	9.2	7.9	6.8	5.8	4.8	3.9	4.0	3.7

※ 一時借入金利子を除く。

(2) 市債残高の推移

- 市債の令和5年度末残高は、前年度末より5億円減の1,040億円となる見込みです。
- 元利償還金の100%を地方交付税で措置される臨時財政対策債が市債残高の半分近く（451億円、43.3%）を占めていますが、学校耐震化・改築や大舘山最終処分場建設、道の駅ふくしま整備等により事業充当市債等の残高も平成29年度末を底に上昇に転じています。
- 福島駅東口地区市街地再開発をはじめとする大型事業の進捗や学校改修・改築等により今後も市債残高の増加見込まれ、厳しい財政運営が続きます。



5 特別会計予算と事業会計予算

(1) 会計別予算額

区 分		(単位 千円、%)			
		令和5年度	令和4年度	増△減	
				増減額	増減率
一般会計		114,700,000	115,900,000	△ 1,200,000	△ 1.0
特別会計					
1	国民健康保険事業費	22,867,972	23,472,993	△ 605,021	△ 2.6
2	飯坂町財産区	124,966	117,176	7,790	6.6
3	公設地方卸売市場事業費	220,133	210,733	9,400	4.5
4	土地区画整理事業費	24,955	18,782	6,173	32.9
5	介護保険事業費	28,161,163	27,579,986	581,177	2.1
6	庁舎整備基金運用	1,001,000	1,001,000	0	0.0
7	後期高齢者医療事業費	4,008,593	3,964,342	44,251	1.1
8	青木財産区	2,154	1,854	300	16.2
9	工業団地整備事業費	1,483,691	53,547	1,430,144	2,670.8
10	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	21,853	19,366	2,487	12.8
小計		57,916,480	56,439,779	1,476,701	2.6
事業会計					
1	水道事業	11,288,156	11,214,478	73,678	0.7
2	下水道事業	14,607,644	14,178,487	429,157	3.0
3	農業集落排水事業	314,437	283,317	31,120	11.0
小計		26,210,237	25,676,282	533,955	2.1
合計		198,826,717	198,016,061	810,656	0.4

特別会計の主な増減理由

1 国民健康保険事業費

- 被保険者の減による一般被保険者療養給付費の減

2 飯坂財産区

- 温泉供給施設の高効率化改修のための設計委託費の増

3 公設地方卸売市場事業費

- 市場施設再整備計画事業費の増

4 土地区画整理事業費

- 福島北土地区画整理事業費における倉庫解体撤去費の増

5 介護保険事業費

- 要介護者の増及び一人当たりの給付額の増による介護サービス等給付費の増

7 後期高齢者医療事業費

- 被保険者の増による保険料納付金の増

9 工業団地整備事業費

- 第2期福島おおぞらインター工業団地整備の進捗による増
(都市計画決定、用地補償、造成工事等)

10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費

- 国への償還金の増

(2) 事業会計予算

① 水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和5年度	令和4年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,688,253	7,741,721	△53,468	△0.7%
収益的支出	7,566,948	7,739,923	△172,975	△2.2%
資本的収入	1,561,478	1,353,257	208,221	15.4%
資本的支出	3,721,208	3,474,555	246,653	7.1%
支出合計	11,288,156	11,214,478	73,678	0.7%

■ 主な事業

(単位 千円)

ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針	予算額	説明
1 安全でおいしい水の供給	187,327	水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。 ①水安全計画に基づく水質管理
2 災害に強い水道の構築	2,244,638	適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。 ①老朽管更新事業 ②水道施設の長寿命化 ③基幹施設・基幹管路耐震化事業 ④災害対策の強化
3 持続可能な水道経営	1,486,973	お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。 ①有収率向上対策の強化 ②廃止施設の整理推進 ③技術継承・人材育成 ④戦略的広報広聴の推進
4 地球にやさしい水道へ挑戦	13,270	良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。 ①水源保全活動団体への助成 ②環境負荷の低減

② 下水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和5年度	令和4年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,621,019	7,547,842	73,177	1.0%
収益的支出	7,239,879	6,986,430	253,449	3.6%
資本的収入	4,514,773	4,473,764	41,009	0.9%
資本的支出	7,367,765	7,192,057	175,708	2.4%
支出合計	14,607,644	14,178,487	429,157	3.0%

■ 主な事業

(単位 千円)

事業名	予算額	説明
1 管路建設事業	1,208,231	未普及地区の下水道整備（施工延長L=2,920m）を実施します。また、集中豪雨に伴う浸水被害の軽減を図るため、雨水排水総合計画策定委託及び樋管改修工事を実施します。
2 雨天時浸入水対策事業	10,000	分流式下水道地区における雨天時の下水流量増加に起因する污水管からの溢水事故等の防止や処理場施設の安全確保のため、雨天時浸入水対策計画を策定します。
3 ポンプ場等耐水化事業	7,000 【3月補正前倒し】13,000	河川氾濫等の災害時における下水道機能への影響を最小限に抑えるため、下水道施設の耐水化対策の詳細設計を実施します。（処理場1カ所、雨水ポンプ場2カ所）
4 下水道ストックマネジメント事業	60,300 【3月補正前倒し】69,200	ストックマネジメント計画に基づく管渠のカメラ調査等の実施により異状箇所等を把握し、計画的かつ効率的に施設更新を行います。
5 水洗化普及対策事業	5,503	未水洗化世帯への下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施します。

③ 農業集落排水事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和5年度	令和4年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	161,942	148,966	12,976	8.7%
収益的支出	160,442	148,966	11,476	7.7%
資本的収入	93,554	76,386	17,168	22.5%
資本的支出	153,995	134,351	19,644	14.6%
支出合計	314,437	283,317	31,120	11.0%